

開催趣旨

昨今、新自由主義の考え方に基づく諸施策によって経済格差が拡大し、防衛費が膨らむ一方、医療・社会福祉制度は年々やせ細っている。社会保障改悪にストップをかける運動と相まって、未来のあるべき医療を私達自らがデザインし、多くの国民・患者から共感を得なくてはならない。

その夢を描く場にしたいという期待を込めて、医師であり作家である海堂尊氏に記念講演をいただく。

そして、シンポジウムを通じて過去に学び、現状とその問題点をあぶりだし、未来を描く。「過去に学ばないものは未来に対して盲目となる」との名言があるが、我われもこれにならない、前回の医療研in大阪と同じく、戦争と医の倫理をテーマに取り上げる。

さらに、現在の医療の問題である医療者の働き方や多様性を認める社会を見据えて『LGBT』を取り上げ、未来の医療を展望する研究フォーラムにしたい。

今回の共同調査では、子どもたちの口腔崩壊の実態を明らかにした学校健診後治療調査を医科の分野にも広げ、改めて、子どもの健康と経済格差の関係を探りたい。

参加費	医師・歯科医師	8,000円	〈その他〉	
	協会・医会事務局	2,000円	レセプション参加費	10,000円
	コ・メディカル/コ・デンタル	500円	昼食弁当代(10/14)	1,500円
	市民	無料	オプション企画(10/13)	中面参照
			託児所(一時保育)あり	

※1日のみの参加でも、両日参加でも参加費は変わりません。所属の保険医協会・保険医会を通じてお申し込みください。
※テーマ等企画が変更になる場合があります。

会場 | グランキューブ大阪 (大阪府立国際会議場)

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5-3-51
TEL : 06-4803-5555
京阪電中中之島線「中之島駅」(2番出口)すぐ



問合せ | 03-3375-5121 (保団連) または所属の保険医協会・保険医会へ



2019年第34回保団連医療研究フォーラム

参加者募集

メインテーマ

過去・いま・未来

これからの医療をデザインする



2019年
10月13日(日)
～14日(月・祝)

グランキューブ大阪
(大阪府立国際会議場)
大阪市北区中之島5丁目3番51号

主催 | 全国保険医団体連合会
主務地協会 | 大阪府保険医協会
大阪府歯科保険医協会
大阪府保険医協同組合

10月13日 日

16:00~21:00

10階 1日目

16:00~16:30

開会式

16:35~17:15

全国共同調査結果発表

市民公開

「学校健診後治療調査」

17:20~19:05

記念講演

市民公開

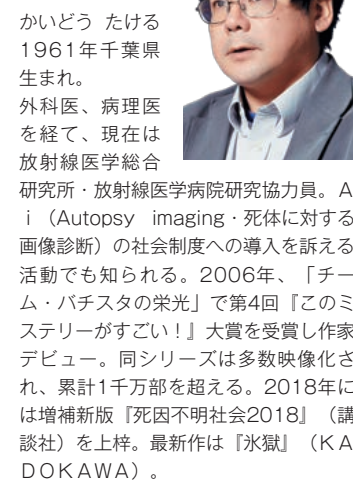
「医療エンタメとリスクヘッジ」

海堂 尊氏 (医師・作家)

ドラマ化もされた小説『チーム・バチスタの栄光』や『ブラック・ペアン』で知られる作家・海堂尊氏は、医師としての確かな知識をベースにした描写と「医療エンターテインメント」としての娯楽性を追求したダイナミックな作風で知られています。

また、Ai (Autopsy imaging: 死体に対する画像診断) の推進者としても著名であり、医療における「リスクヘッジ」(危機管理)として、Aiを含めた医療情報の公開が重要になると主張されています。

「医療エンターテインメント」と「リスクヘッジ」、この二つのテーマを縦横に語っていただきます。乞うご期待ください。



かいどう たける
1961年千葉県生まれ。
外科医、病理医を経て、現在は放射線医学総合研究所・放射線医学病棟研究協力員。Ai (Autopsy imaging: 死体に対する画像診断) の社会制度への導入を訴える活動でも知られる。2006年、「チーム・バチスタの栄光」で第4回「このミステリーがすごい!」大賞を受賞し作家デビュー。同シリーズは多数映像化され、累計1千万部を超える。2018年には増補新版『死因不明社会2018』(講談社)を上梓。最新作は『氷獄』(KADOKAWA)。

19:30~21:00

レセプション

ホテルNCB 2階 松の間 (会場より徒歩5分)

9:00~16:00

10月14日 月・祝

10階 2日目

9:00~12:00

分科会

- 第1分科会 医科診療の研究と工夫
- 第2分科会 歯科診療の研究と工夫
- 第3分科会 在宅医療、介護
- 第4分科会 医科歯科連携した研究と日常診療の工夫
- 第5分科会 災害、公害、環境、職業病
- 第6分科会 医学史、医療運動史、医療と裁判

9:00~15:00

ポスターセッション

13:15~16:00

シンポジウム

● 開業医がいきいきと働くために

- 基調提案 「開業医がいきいきと働くためには~協会調査から見えてきたこと~」伊藤 裕之氏 (大阪府保険医協会理事)
「開業歯科医の働き方調査報告」富本 昌之氏 (大阪府歯科保険医協会副理事長)
- コーディネーター 嶋田 一郎氏 (大阪府保険医協会・地域医療対策部長)
- 報告者 「へき地医療のやりがいと課題」森田 裕司氏 (和歌山県・古座川町国保明神診療所)
「女性医師の立場から」細部 千晴氏 (保団連女性部担当理事)
「患者さんに寄り添い、いきいきと働くために」竹田 智雄氏 (岐阜県保険医協会副会長)

● 731部隊とは何だったのか あらためて医の倫理を問う 市民公開

- 司会 武田 勝文氏 (大阪府保険医協会副理事長)
- コーディネーター 原文 夫氏 (15年戦争と日本の医学医療研究会事務局次長)
- シンポジスト 「15年戦争期における日本の医学犯罪が今日の医療倫理に対してもつ意味」土屋 貴志氏 (大阪市立大学大学院文学研究科准教授)
「最新の知見より:『731』遺跡発掘、留守名簿公開、京大による検証など」
西山 勝夫氏 (滋賀医科大学名誉教授、15年戦争と日本の医学医療研究会事務局次長)

● 輝け!いのち自分らしさを求めて...『LGBT』を知る 市民公開

- 座長・コーディネーター 宇都宮 健弘氏 (大阪府保険医協会副理事長)
- 報告者 「性的マイノリティの人権課題と最近の動向について」日高 庸晴氏 (宝塚大学看護学部教授)
「性同一性障害当事者として家族や社会との関わりについて~私の経験と見聞きしてきたこと~」山田 美香氏 (静岡県保険医協会副理事長)
「LGBTを知る~日本社会の中でマイノリティであること~」東 小雪氏 (元タカラジェンヌ・LGBTアクティビスト)
「LGBTが日常にもたらずもの~毎日の生活を必死に生きる患者さんたち~」清水 聖保氏 (大阪府保険医協会理事)

10月13日 日

オプション企画 (要事前申し込み)

① 13:00~15:00 大阪城の歴史散策

戦火の中の民衆を描いた「大坂夏の陣図屏風」の解説書『戦国のゲルニカ』の著者であり、元・大阪城天守閣館長と、大坂の陣ゆかりの地をめぐる。

案内人：渡辺 武氏 (元・大阪城天守閣館長)
参加費：1,000円 (入館料込み)
定員：15人程度



② 12:00~14:00 落語家と行く なにわ探検 クルーズ

落語家さんの軽妙な案内で、水の都・大阪の街を川から探検する楽しい船の旅。

案内人：落語家
参加費：4,000円 (お弁当・お茶代込み)
定員：40人 (貸切)

